



## 審査対象広げた論文賞 産学の二グループが受賞

CONEX2010講演を今回から撤廃したこと、同会で発表された研究を対象とする「論文賞」協会の「論文賞」には二件が選ばれた。

十月二十六日の最後に行なわれた「論文賞」発表・授賞式では、福田博論文審査委員長（東京理科大学基礎工学部教授）が、これまで「論文賞」の応募資格として「40歳未満」としてきた年齢制限

を今回から撤廃したこと、同時に「積極的に応募しない」と意思表示された以外の発表はすべて審査の対象とする方針変更の報告と、審査経過の説明を行なった後、次の二件の研究が「論文賞」に選ばれたことを発表した。

学東京）、北山暢彦（機Iハイインフラシステム）、林耕四郎（AGCマテックス機）  
現場重合型ポリアミド6をマトリックスとするCFRTPの機械的特性に及ぼす成形条件の影響（中村幸一（日東紡績機） 逸吾一（日本大学）、平山紀夫（日東紡績機）、西田裕文（ナガセケムテックス機）

セケムテックス機）  
これを受けて、それぞれの研究グループの発表者（前田研一氏、中村幸一氏）に対して逸吾一会長から賞状と副賞が贈られて栄誉が顕彰された。  
ちなみに、日東紡績機の中村幸一氏、平山紀夫氏、ナガセケムテックス機の前田裕文氏の研究グループは、一昨年のCONEX2008でも「現場重合型ポリアミド樹脂をマトリックスとするCFRTPの機械的特性に及ぼす表面処理の影響」の研究で「論文賞」を贈られている。